

大化の改新と律令国家

1 / 1

旧石器

縄文

弥生

古墳

飛鳥

奈良

平安

鎌倉

室町

今日の問い

中大兄皇子たちは、どのようにして天皇を中心とする律令国家をつくったのだろう。

読み終えたら、最後の「問いへの答え」を見る前に、自分の言葉で答えてみよう。

1 大化の改新と東アジア

蘇我氏をたおす

なかのおえのおうじ
中大兄皇子

中臣鎌足とともに蘇我氏をたおし、大化の改新を進めた。のちの天智天皇。

聖徳太子の死後、蘇我氏は皇族をしのぐほどの権力をふるった。645年、中大兄皇子は中臣鎌足とともに蘇我蝦夷・入鹿の親子をたおし、政治の改革を始めた。これを大化の改新といい、豪族が支配していた土地と人々を国が直接治める公地公民の方針が示された。

たいかのかいしん
大化の改新

645年に蘇我氏をたおして始まった政治の改革。

663年、倭は、唐と新羅にほろぼされた百済を助けるために大軍を送ったが、白村江の戦いに敗れ、西日本の守りを固めた。中大兄皇子は即位して天智天皇となった。その死後、あとつぎをめぐる壬申の乱(672年)に勝った天武天皇が改革を進め、694年には藤原京に都が移された。

はくそんこうのたたかい
白村江の戦い

663年。倭(日本)が唐・新羅の連合軍に敗れた戦い。「はくすきのえ」とも読む。

2 律令国家のしくみ

律令のしくみ

たいほうりつりょう
大宝律令

701年に制定された、唐の律令を手本にした法律。

701年、唐の律令を手本にした大宝律令が制定された。律は刑罰のきまり、令は政治のしくみなどを定めたきまりで、これにより日本は、律令にもとづいて政治を行う律令国家となった。中央では太政官のもとに八つの省が置かれ、仕事を分担した。

こくし
国司

都から派遣され、地方の国を治めた役人。

地方は国・郡・里に分けられ、都から派遣される国司が国を治め、地方の豪族が任じられる郡司が国司を助けた。九州北部には、外交と防衛にあたる大宰府が置かれた。こうして、天皇を中心に全国を治めるしくみが整えられた。

だざいふ
大宰府

九州北部に置かれ、外交と防衛にあたった役所。

しくみ	はたらき
太政官	中央の政治を行う最高の役所。もとに八つの省
国司・郡司	国司は都から派遣されて国を治め、郡司(地方の豪族)が助ける
大宰府	九州北部に置かれ、外交・防衛にあたる

問いへの答え

中大兄皇子は中臣鎌足とともに蘇我氏をたおして大化の改新を始め、土地と人々を国が直接治める公地公民の方針を示した。白村江の戦いの敗戦や壬申の乱を経て、天武天皇らが天皇の力を強めて改革を進めた。そして701年の大宝律令により、中央の太政官と地方の国司・郡司が全国を治める律令国家のしくみが整えられた。

次はノートで、下線に語句を書きながら確かめよう →

